東北地方

名前

問1　山形県の日本海側に位置する庄内平野が、日本屈指の米どころとして発展した背景には、この地域特有の地形や水資源の条件があります。その背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため
2. 夏の間も冷涼な偏東風（やませ）が吹くことで、稲の病害虫の発生が抑えられるため
3. 年間を通じて雨が極めて少なく、乾燥した気候が稲の成長に適しているため
4. 最上川の急流を利用した水力発電により、農業用機械の電力を安価に確保できたため

問2　東北地方の太平洋側では、特定の気象条件によって農作物の収穫量が大きく減少する「冷害」が発生することがあります。この冷害が起こる仕組みと直接的な影響について説明したものとして、最も適切なものを選んでください。（2026年 栃木県公立入試 類似）

1. 日本海側から山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風により、農地が乾燥し、作物の水分が奪われて枯れてしまう。
2. 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。
3. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の風により、激しい吹雪が発生し、冬の農作物が凍結してしまう。
4. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気の影響で、記録的な大雨が長時間降り続き、農地が浸水被害を受ける。

問3　東北新幹線は、東京都から青森県までを結ぶ路線ですが、その沿線にある都県の中で新幹線の停車駅数が7駅と最も多いのは岩手県です。この岩手県の県庁所在地であり、秋田新幹線との分岐点にもなっている都市を選びなさい。（2017年 香川県公立入試 類似）

1. 盛岡市
2. 青森市
3. 福島市
4. 仙台市

問4　山形県の製造品出荷額の内訳を示した統計資料において、食料品や生産用機械と並んで、電子部品を含む情報通信機械などの割合が高くなっている背景として正しい説明はどれか、選びなさい。（2017年 兵庫県公立入試 類似）

1. 海外からの輸入原材料に依存するため、大型船舶が接岸できる港湾施設に近い沿岸部にすべての工場が集中しているため。
2. 広大な平野部を利用して大規模な農業が営まれており、県内の工業の大部分が輸出用の農産物加工に特化しているため。
3. 高速道路などの交通網が整備されたことで、内陸部を中心に軽量で付加価値の高い製品を作る工場の進出が進んだため。
4. 大規模な鉄道網の整備により、県外から石炭や鉄鉱石を安価に大量搬入できる体制が整い、重工業が発展したため。

問5　日本の太平洋沖などで見られる、南から北上する暖流と北から南下する寒流がぶつかり合う海域を何というか。この海域はプランクトンが豊富で、多くの魚が集まる良質な漁場となっている。（2024年 青森県公立入試 類似）

1. 海溝
2. 大陸棚
3. 扇状地
4. 潮境（潮目）

問6　夏に太平洋側から冷たく湿った風が吹いた際、奥羽山脈を境にして宮古市周辺と秋田市周辺で気温に差が生じる理由として最も適切なものを1つ選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）

1. 風が奥羽山脈を越えて秋田市側へ吹き下りる際に、空気が乾燥して気温が上昇するフェーン現象が起きるため。
2. 宮古市側で発生した大量の降水によって熱が奪われ、その冷気が奥羽山脈を越えられずに留まるため。
3. 秋田市側には夏の間ずっと強い南風が吹き続けており、奥羽山脈がその風を太平洋側に遮るため。
4. 太平洋側の宮古市側だけに暖流が流れており、山脈を越えると急激に冷やされるため。

問7　東北地方を日本海側の秋田県から太平洋側の岩手県にかけて横断する地形の断面図を想定したとき、その中央部に位置し、標高1000メートルを超える山々が連なる「脊梁山脈」を何と呼びますか。（2026年 長野県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈
2. 出羽山地
3. 北上高地
4. 越後山脈

問8　東北地方に位置する宮城県の県庁所在地として正しいものはどれか。なお、この都市は県名と都市名が異なる例の一つである。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 高松市
2. 秋田市
3. 仙台市
4. 金沢市

問9　日本の東北地方南部に位置し、平均標高が226mで、西部に平野、中央部には火山とその南側に広がる猪苗代湖などの深い湖が見られる地域において、病害虫の影響が少ない東部で特に生産が盛んな農産物として正しいものを選びなさい。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. きゅうり
2. ごぼう
3. レタス
4. ピーマン

問10　東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。（2022年 京都府公立入試 類似）

1. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。
2. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。
3. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。
4. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。

問11　宮城県の産業構造について述べた文として、製造品出荷額の規模と農業の特色をふまえた、最も適切な説明はどれか。なお、製造品出荷額等は約9兆円、農業では米のほか野菜の生産も盛んなものとします。（2024年 高知県公立入試 類似）

1. 東北地方の中でも工業生産が盛んであり、仙台市などの都市向けに野菜を生産する農業も行われている。
2. 製造品出荷額等は東北最大級であるが、農業は米の単作に特化しており野菜の生産はほとんど行われていない。
3. 大規模な工業団地が集積しているが、農業における産出額は果実が野菜を大きく上回っている。
4. 製造品出荷額等は1兆円を下回るが、果実の産出額が全国トップクラスである。

問12　東北地方の中央部に位置する奥羽山脈は、地域の気候に大きな影響を与えています。冬の季節風が吹く際、この山脈が障壁となることで生じる現象について説明したものとして、正しいものはどれか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 日本海側から湿った空気を運ぶ季節風が山脈にぶつかり、日本海側で多くの雪を降らせる。
2. 冬の季節風が山脈を越える際に熱を持ち、太平洋側の気温を著しく上昇させる。
3. 山脈の影響で雲が遮られるため、冬の間は日本海側・太平洋側の両方で乾燥した晴天が続く。
4. 太平洋側から吹き込む湿った冷たい北東風が山脈にぶつかり、日本海側に冷害をもたらす。

問13　東北地方の太平洋側に位置する岩手県では、夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）による被害を最小限に抑えるための工夫が行われています。岩手県の米の作付面積において、全体の7割を超える高い割合を占めている、冷害に強い性質を持つ品種として適切なものを選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. ひとめぼれ
2. コシヒカリ
3. あきたこまち
4. つや姫

答え合わせ・解説

問1	答え 1 最上川がもたらす肥沃な土壌と、奥羽山脈などからの豊かな雪解け水が供給されるため	庄内平野は、最上川の下流に広がる沖積平野です。米作りには大量の水が必要ですが、この地域では冬の間に山に降り積もった雪が春に溶け出し、最上川などを通じて平野に潤いをもたらします。この「雪解け水」と、川が運んできた栄養豊富な土壌という自然の恩恵に加え、大規模な灌漑施設の整備といった人の努力が組み合わさり、一大稲作地帯となりました。なお、「やませ」は東北地方の太平洋側に冷害をもたらす要因であるため、日本海側の庄内平野には当てはまりません。
問2	答え 2 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。	冷害の主な原因は、初夏から夏にかけて吹く「やませ」です。この北東の風が長期間吹き続けると、太平洋側の地域を中心に気温が平年より大幅に低くなり、さらに濃霧によって太陽の光が遮られます。その結果、稲などの農作物が十分に育たなくなり、収穫量に深刻な打撃を与えます。これに対し、山を越えて吹く高温乾燥の風はフェーン現象と呼ばれ、冷害とは逆の現象です。
問3	答え 1 盛岡市	岩手県は本州で最も面積が広い県であり、県内には一ノ関から二戸まで合計7つの東北新幹線の駅が設置されています。これは沿線の都県の中で最多の数です。県庁所在地の盛岡市は、青森方面へ向かう東北新幹線と、秋田方面へ向かう秋田新幹線が分岐する交通の要所としての役割を担っています。
問4	答え 3 高速道路などの交通網が整備されたことで、内陸部を中心に軽量で付加価値の高い製品を作る工場の進出が進んだため。	山形県の工業は、かつての製糸業などから、電子部品や機械工業へと大きく変化してきました。特に高速道路のインターチェンジ周辺や内陸部の工業団地には、輸送効率を重視した電子部品工場などが多く立地しています。これにより、製造品出荷額においてもこれらの製品が高い割合を占めるようになっています。
問5	答え 4 潮境（潮目）	暖流と寒流がぶつかる場所では、海水がかき混ざることで下層の栄養分が海面近くに上昇し、植物プランクトンが多く発生します。そのため、これらを餌とする魚が集まりやすく、好漁場が形成されます。誤答の「大陸棚」は水深200m程度までの平坦な海底地形、「海溝」は深く切れ込んだ海底地形を指します。
問6	答え 1 風が奥羽山脈を越えて秋田市側へ吹き下りる際に、空気が乾燥して気温が上昇するフェーン現象が起きるため。	太平洋側から吹く冷たく湿った風は、奥羽山脈を登る際に雨や霧を出して水分を失います。山を越えて秋田市側に吹き下りる時には乾燥した温かい風となり、気温が上昇します。この現象はフェーン現象と呼ばれ、秋田市側の気温が高くなる要因となります。
問7	答え 1 奥羽山脈	東北地方の中央部を南北に走る奥羽山脈は、日本海側と太平洋側を分ける「脊梁山脈」としての役割を果たしています。地形の断面図で見ると、西側の秋田県側と東側の岩手県側の間に位置する、最も標高の高い部分に該当します。東側に位置する北上高地は、なだらかな地形が特徴であり、断面図の形状が異なります。
問8	答え 3 仙台市	宮城県の県庁所在地は仙台市である。選択肢のうち、秋田市は秋田県の県庁所在地であり県名と一致しているため条件に当てはまらない。金沢市（石川県）と高松市（香川県）は、仙台市と同様に県名と県庁所在地名が異なる都市の例として知られるが、それぞれ北陸地方と四国地方の都市であり、宮城県ではない。
問9	答え 2 ごぼう	この地域は福島県付近の特徴を示しています。中央部に火山や日本有数の深さを誇る猪苗代湖を擁するこのエリアでは、地形や気候に合わせた農業が行われています。特に病害虫の被害を抑えやすい東部の環境を活かして「ごぼう」の栽培が盛んに行われており、地域の重要な特産物となっています。
問10	答え 3 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問11	答え 1 東北地方の中でも工業生産が盛んであり、仙台市などの都市向けに野菜を生産する農業も行われている。	宮城県は東北地方における工業の中心地であり、製造品出荷額等は約9兆円という高い水準にあります。農業面では、広大な平野を利用した米作りだけでなく、大消費地である仙台市の周辺で野菜を栽培する「近郊農業」が盛んに行われている点が、他の東北各県と比較した際の大きな特徴です。果実の生産が野菜を上回る、あるいは製造品出荷額が1兆円未満であるといった記述は事実に反します。
問12	答え 1 日本海側から湿った空気を運ぶ季節風が山脈にぶつかり、日本海側で多くの雪を降らせる。	冬、水分を豊富に含んだ北西の季節風が奥羽山脈にぶつかることで、山脈の西側（日本海側）では世界有数の豪雪地帯が形成されます。一方で、山脈を越えた東側（太平洋側）では水分を失った乾いた風が吹くため、晴天が多く乾燥した気候となります。
問13	答え 1 ひとめぼれ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から吹く「やませ」の影響で気温が上がらず、農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生しやすくなります。この対策として、岩手県などの地域では寒さに強い性質を持つ「ひとめぼれ」を重点的に栽培しており、地域の気候特性に合わせた品種選択（作付面積の調整）が行われています。一方、日本海側の秋田県では「あきたこまち」が多く栽培されています。